

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	国際会計研究科	身分	教授
氏名	磯村 和人		
NAME	KAZUHITO ISOMURA		

1. 研究課題

(和文) 実務家に向けた教育方法と教材開発に関する研究

(英文) Study on developing educational methods and teaching materials for practitioners

2. 研究期間

2 年間 (2010-2011 年度)

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

経済が成熟化し、経営のグローバル化が進むなかで、企業の競争環境は厳しくなり、その対応能力を高めるために実践的なビジネス教育の重要性は高まっている。こうした動向を受けて、本研究は、実務家に向けた実践的な教育方法を提案すると同時に、教材開発を行うことを目的としている。

2010 年度では、実践的な教育方法や教材開発を進めるための背景を明らかにするために、日本において、企業と社員との関係がどのように変容してきているかを考察した。その成果の一部を「組織と個人の関係を見直す：統合形態の視点から」という論文として出版した。また、企業内で求められる人材開発や人材育成の動向を理解するために、MBA 学生と修了生に対してリーダーシップ志向性に関するアンケート調査を実施した。その結果の一部を論文 “Examining the Japanese leadership orientation and their changes” としてまとめた。

2011 年度では、経営理論と実践を架橋する取り組みについて、文献研究を行い、その研究成果の一部を「バーナード理論の研究動向」として出版した。さらに、実務家が実践を通じて、どのように実践的思考や知識を形成しているかを論じることで、実務家に向けた教育方法を開発するための基礎研究を行い、その成果の一部をカンファレンスペーパーにまとめるとともに、海外の学会で報告した。また、実務家に向けた教材開発について、民間企業の実務家との共同研究を実施しており、「変革の哲学」野中郁次郎編『経営は哲学なり』ナカニシヤ出版、2012 年を共著として出版した。

(英文)

The purpose of this study is to develop educational methods and teaching materials for practitioners. To develop educational methods for practitioners, I published five papers and one book to deepen the understanding of what practitioners need to learn in their workplace. I also proposed a concrete educational method in one paper and developed a textbook for practitioners with my co-authors.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

Isomura, K. “Barnard on leadership management: bridging action and thinking,” *Journal of Management History*, Vol.15, No. 2, pp.216-232, 2010年5月、査読有。

磯村 和人「組織と個人の関係を見直す：統合形態の視点から」『CGSAフォーラム』第9号、2011年3月、19-31頁、査読無。

Isomura, K. “Review of the introduction and development process of scientific management in Japan,” 『CGSAフォーラム』第10号、2012年3月、95-106頁、査読無。

Isomura, K. “Exploring practical thinking and knowledge on the basis of Chester Barnard’s insights,” paper presented at Western Academy of Management 53th Annual Meeting, March 21-24, La Jolla, California, USA, 2012、査読有。

Mujtaba, B.G. and Isomura, K. “Examining the Japanese leadership orientation and their changes,” forthcoming in *Leadership & Organization Development Journal*, Vol. 33, No. 4, 2012、査読有。

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

Isomura, K. “Exploring practical thinking and knowledge on the basis of Chester Barnard’s insights,” Western Academy of Management 53th Annual Meeting, March 21-24, La Jolla, California, USA, 2012。

【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

磯村 和人「バーナード理論の研究動向」経営学史学会監修『バーナード』文真堂、2011年。

磯村 和人「変革の哲学」野中郁次郎編『経営は哲学なり』ナカニシヤ出版、2012年。

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）